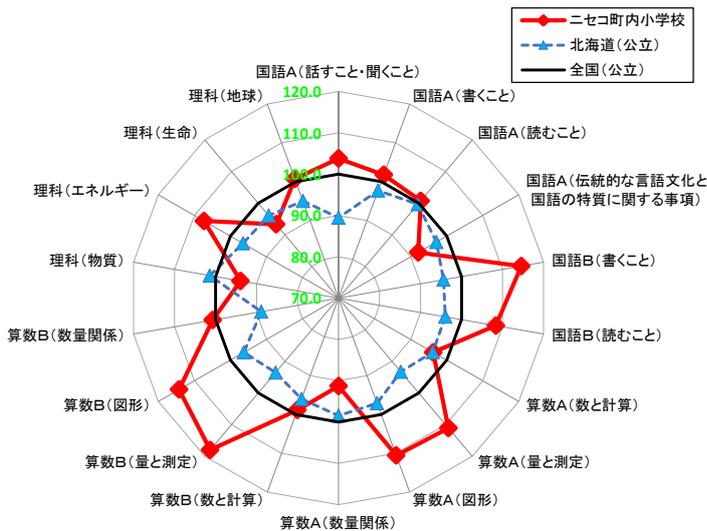


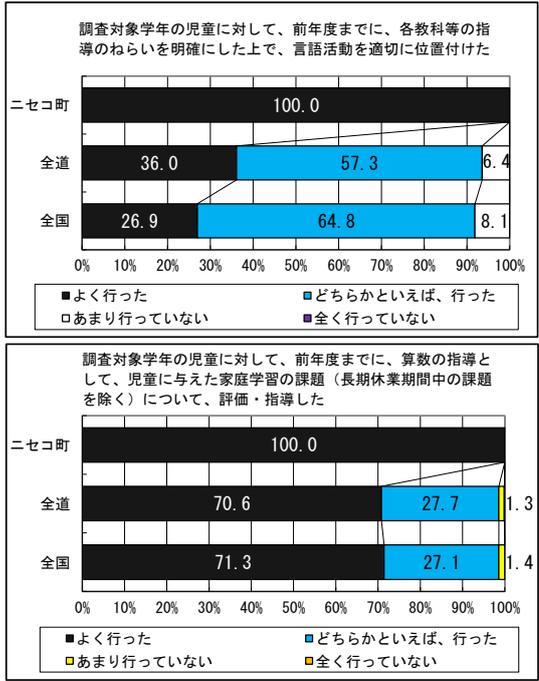
ニセコ町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2、児童数:40名)

【教科全体の状況】

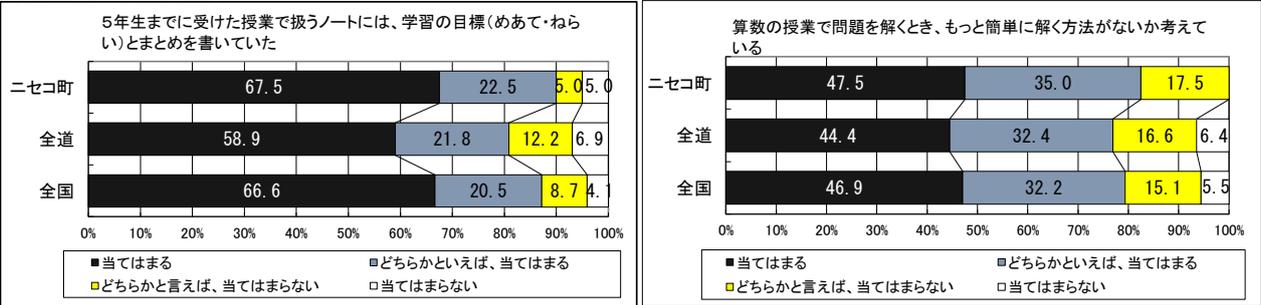
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」、国語Bでは「書くこと」、「読むこと」で、全国及び全道を上回っている。 ○ 算数Aでは「量と測定」、「図形」、算数Bでは「量と測定」、「図形」「数量関係」で、全国及び全道を上回っている。 ○ 理科では、「エネルギー」、「地球」で、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けたことにより、基礎的・基本的な知識・技能を活用する思考力・判断力・表現力が身に付き、国語Bの「書くこと」、「読むこと」、算数Bの「量と測定」、「図形」、「数量関係」で、全国及び全道を上回ったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていた」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 算数の指導として、児童に与えた家庭学習の課題(長期休業期間中の課題を除く)について、継続して評価・指導したことにより、算数における基礎的・基本的な知識・技能が身に付き、算数Aの「量と測定」、「図形」で、全国及び全道を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「算数の指導として、児童に与えた家庭学習の課題(長期休業期間中の課題を除く)について、評価・指導した」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

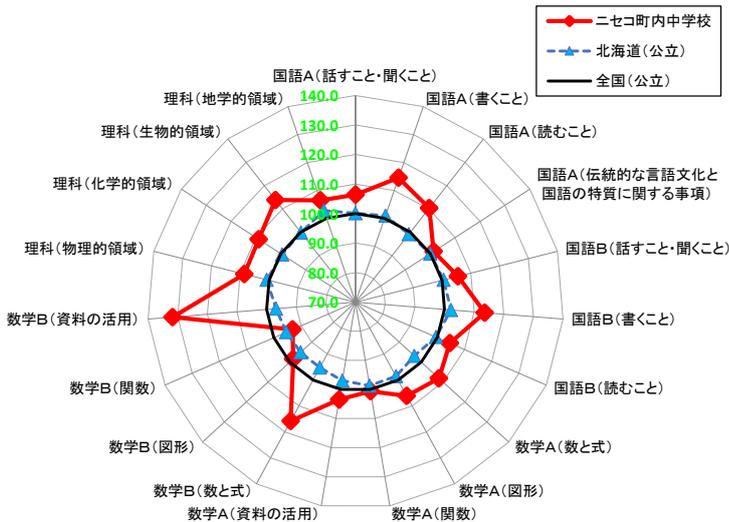
【ニセコ町の学力向上策】

- ◎ TTや少人数教育、習熟度別指導、ICTの有効活用など多様な指導方法の工夫
- ◎ アクティブ・ラーニングの導入などによる「楽しい」「わかる」授業づくりの推進
- ◎ 学校図書室支援員の配置による読書環境改善や読書習慣定着の取組みの充実
- ◎ 「学校評価ガイドライン」に基づく幼・小・中・高の連携強化と学校改善の推進

■ニセコ町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1、生徒数:28名)

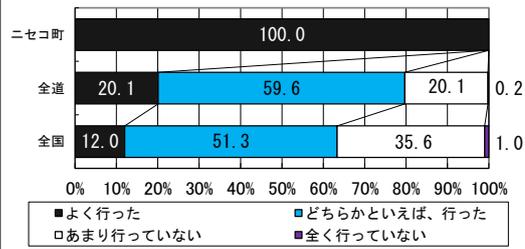
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

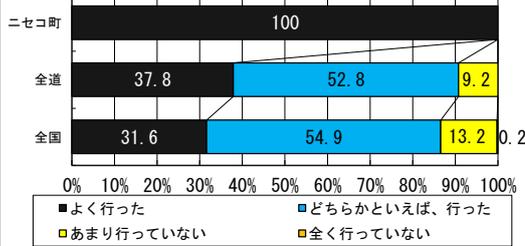


【学校質問紙調査】

調査対象学年の生徒に対して前年度までに、授業において、生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れた

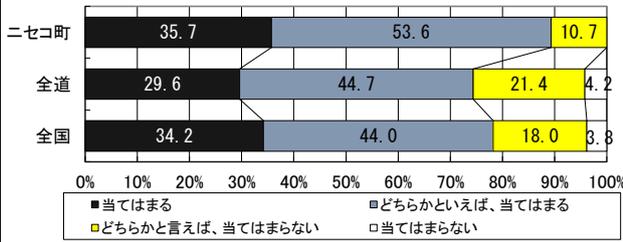


言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んだ

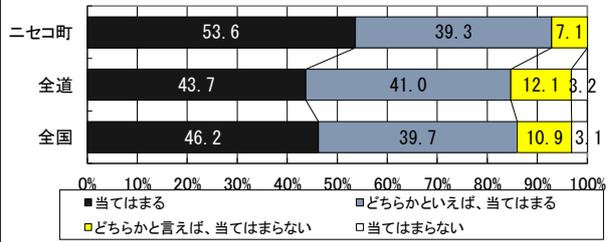


【生徒質問紙調査】

1、2年生のときに受けた授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていた



1、2年生のときに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていた



【分析】

教科	○ 国語A・Bともに全ての領域、数学Aでは全ての領域、数学Bでは「数と式」、「資料の活用」、理科では全ての領域で、全国及び全道を上回っている。	○ 授業において、生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れたことにより、基礎的・基本的な知識・技能や、それらを活用する思考力・判断力・表現力が身に付き、全ての教科の多くの領域において、全国及び全道を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていた」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていた」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んだことにより、「生徒の間で話し合う活動をよく行っていた」及び、「自分の考えを発表する機会が与えられていた」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「授業において、生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んだ」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

【ニセコ町の学力向上策】

- ◎ TTや少人数教育、習熟度別指導、ICTの有効活用など多様な指導方法の工夫
- ◎ アクティブ・ラーニングの導入などによる「楽しい」「わかる」授業づくりの推進
- ◎ 学校図書室支援員の配置による読書環境改善や読書習慣定着の取組みの充実
- ◎ 「学校評価ガイドライン」に基づく幼・小・中・高の連携強化と学校改善の推進